MOVEMENT BRIEF

VESON NAUTICAL

持続可能性

環境、産業、ビジネスの未来を積極的に考慮して今日の課題に対応すること。

持続可能な未来を築く

グローバル取引の9割を占める海運業界は温室効果ガス排出の大きな一因となっており、今日、世界の二酸化炭素排出量の約3%を占めます。国際的な取引は今後数年間で増加すると見込まれており、海運業界から排出される二酸化炭素は現在のペースで2035年までに109万トンに達すると予測されています。その結果、海事関係者がより持続可能な慣行を採用することが急務となっています。

海上貨物の傭船契約のような最近の契約では説明責任を明確にし、環境への影響に関する変更を制定するために主要な海事関係者が集まり、気候変動への世界的な注目が高まっていることに加え、ビジネスの持続可能性を推進する新しい方法を模索しています。

海運ビジネスがより持続可能な事業への移行を目指しているため、より燃費効率の高い船舶の建造や代替燃料への移行などの長期的な解決策は広まっていますが、こられには多大な時間、計画及びリソースが必要となります。これらの飛躍的な前進には大きな可能性を秘めていますが、持続可能な意思決定を可能にするデジタルソリューションを活用して、日常業務を段階的に変更する事で環境への影響を即座に減らすことが可能です。

効率性、収益性及び全体の成功を向上させる可能性に加え、海運業の継続的なデジタル化はより環境に優しい未来を実現するために不可欠な側面です。またデジタル化は、海事関係者が航海ごとに環境への影響を大幅に削減するために、日常業務の変革を開始するために必要な標準化されたデータとビジネス全体の可視性をもたらします。

運輸セクターは石油使用量の7%のみに留まるのに対し、海運は硫黄排出量の90%を占めています。

国際海事機関(IMO)は、業界からの温室効果ガス排出量をを少なくとも2050年迄に50%削減することを目指しています。

95%の海運プロフェッショナルは、脱炭素を最優先事項と考えています。

持続可能性のメリット

持続可能性は、個々の組織や海運エコシステム全体に大きなメリットをもたらします。以下はデジタルテクノロジーによって可能となる、より持続可能な慣行の採用よって海事関係者が実現できる5つの主な利点です。

効率性と収益性の向上

より環境に配慮した輸送と効率性の向上は密接に関係しており、事実、より持続可能な意思決定はより有益な決定でもあります。財務的かつ環境的影響のレンズを通して各決定を体系的に見ることにより、用船者のような主要な海事関係者は体系的に最も財務的かつ環境的に効率的な航海を確定させることができます。更に持続可能な海上輸送に対する財務的なインセンティブは、収益の改善に役立ちます。

接続性と透明性の向上

システムとステークホルダー間での情報を合理化されたフローは、組織の持続可能性の計画実行を移すための前提条件です。更にこのデジタル統合は、組織が日々の業務フローにおける持続可能性を検討できるようにするだけでなく、運用ワークフローの全体から情報を組み込んだ革新的なデータ主導の計画への道を開き、組織全体を刺激的な新しい方法で前進させることができます。

強化された競争優勢性

持続可能性は、世界をリードする船主、オペレーター、コモディティトレーダー、用船者と関わる顧客にとって益々不可欠な考慮事項となっています。より持続可能な慣行を採用することは、顧客とコミュニティ全体に対する永続的な取り組みを示す事であり、強力な競争上の優位性となる可能性があります。

現在及び将来の規制への遵守

規制の状況は持続可能性への世界的な焦点を反映し続けており、今日の自主的なものは明日には義務となる可能性があります。IMO2020のような現在の規制を遵守するだけでなく、規則を超えて行動することにより、海運業界のリーダーは今後CO2リスクを積極的に軽減することが可能です。

より環境に優しい未来

持続可能性の最後のそして最も重要な利点は、海運エコシステムにおける我々の役割に関係なく、全員が共有するということです。海上貨物の傭船契約のような契約は、海事関係者が集まり、業界の環境への影響を減らす道を開きました。更に、組織内で段階的な変更を加えることによって企業はグローバルコミュニティの無駄を減らし、より持続可能な未来に貢献する事ができます。

気 候変動と対峙するために即座に行動を起こすという圧力が高まる中、持続可能性は海運のステークホルダーにとって最大の関心事となっています。この点について最高製品責任者のエリック・クリストファーソンにインタビューをし、議論をしました。

海運業においてなぜ持続可能性がこれほど普及したのでしょうか？

当業界が持続可能性に重点を置いている事は、複数の要因が関係しています。1つ目は規制です。IMO2020規制（SOx規制）は硫黄排出量に厳しい制限を課し、今後数十年で業界の環境への影響を減らすための野心的な目標を設定しました。明らかにこれらの要件に準拠する必要性は大きな影響を及ぼしましたが、規制要件が一つの要因ではありません。近年、気候変動への取り組みが世界的に大幅に増加しています。海上貨物の傭船契約のような共同イニシアチブやより持続可能な活動のための個々の組織と共に、海事関係者がこの問題を真剣に受け止めていることは明らかです。

どこから始めるべきか海事関係者はどのように知るのでしょうか？

今後数年間で、長期的なソリューション開発に多くの焦点が当てられるでしょう。しかし、海事関係者は今すぐ変化を起こす必要があり、持続可能性を積極的に考慮した商業テクノロジーを採用することは、より持続可能な意思決定を行うための重要な第一歩です。適切なデジタルソリューションを使用すると、現在の環境への影響をより適切に評価し、それを最小限に抑えるための調整を開始することができます。

Veson社がクライアントの持続可能性戦略を前進させるためにどのようなサポートをしていますか？

Veson IMOS Platform (VIP)は、海上輸送に係るワークフロー全体で意思決定を通知、強化するリアルタイムに標準化されたデータを提供することにより、クライアントがより持続可能な航海を確定し、決定に照らし合わせて持続可能性への影響を検討するための必要なツールをクライアントに提供します。予定または実績の航海で消費されたメートルトンあたりのCO2排出量の計算ツールなど、持続可能性に関連する新しい機能を含め海運業のニーズに合わせて継続的にVIPを改良しています。

またクライアントがより持続可能なビジネス推進に必要なシームレスな連携をクライアントに提供するために脱炭素の取り組みを共有するZeroNorth社のような関係者との協業を嬉しく思います。

弊社はクライアントやパートナーと緊密に提携して、海運業全体のより持続可能な未来を作ることに専念しています

3つの重要な成功要因

持続可能な海上輸送の必要性はかつてないほど喫緊となっています。しかし長期的な持続可能性の目標を達成するために必要な計画とリソースの量により、海事関係者はより環境に配慮した海上輸送慣行への移行を開始させる際に圧倒される事となります。成功に向けた3つの重要な要素は次の通りです。

1 持続可能性に対応したプラットフォームの選択

持続可能性戦略を具体化するためのデジタルテクノロジーの利用は、環境に関する目標と要件を理解し、それらをサポートするために必要なデータを提供する実証済みのプラットフォームとパートナーから始まります。適切なプラットフォームは、強力な業務上の洞察と共に持続可能な意思決定を可能にし、最大の影響を与えるために必要な統合に関して、シームレスなアクセスを提供します。理想的なソリューションプロバイダーは全組織のあらゆるステークホルダーに対して権限を与え、海運業の進化するニーズに即した継続的なプラットフォームの改良に取り組むだけでなく、業界での十分な経験を持っている必要があります。

2 野心的かつ現実的であること

長期的な持続可能性への取り組みは重要ですが、小さな漸進的な変化は同様に重要です。二酸化炭素排出量の低い船舶の建造や代替燃料への移行には多大な時間とリソースの投入が必要ですが、これは海事関係者がその間に何もできないという意味ではありません。排出量を理解し、日々の業務により持続可能な慣行を採用する事は、重大な良い影響を与える可能性があり、貴社のビジネスは漸進的な変更を開始する事が出来ます。

3 標準化されたデータを行動に

デジタルソリューションは業務データを整理し、組織全体の可視性を高めることで、より持続可能なビジネス上の意思決定を行うために必要なプラットフォームを構築します。次のステップは、組織が全ての航海に対する環境に関する決定の影響をより適切に評価できるように設計されたソリューションと共に持続可能性戦略を推進させるためにこれらの洞察を使用することであり、これによって温室効果ガスの削減に向けた取り組みや業界の変革に貢献する事を可能とします。

障壁への注意

効果的な対処がされない場合、組織の持続可能性への取り組みに対する障壁となります。

- コンプライアンス：
  IMO2020規制（SOx規制）など適用される規制の複雑さに対して準拠していることを明確にするためにシステム的に説明責任を果たしていますか？
- 異質なデータ：
  効率性や効果の最大化のために主なワークフローに持続可能性に関するデータソースが連携されていますか？
- 部門横断の関与：
  持続可能性計画の成功推進のために部門を超えて主要なステークホルダーを関与させていますか？
- 明確な焦点と目標：
  持続可能性の計画を明確に定義し、企業動機と正しくリンクされていますか？

Veson社アプローチ

貴社の取り組みをより持続可能で、収益性の高い未来へと導きます 。

海運業の業務や意思決定の変革のために設立されたVesonは、商業海運を推進するソリューションの開発、実装、およびサポートにおけるグローバルマーケットリーダーです。業界全体の持続可能性に関する計画に取り組んでいるVesonは、実証済みのビジネスロジックと、動的なクラウドベースのアーキテクチャや知見を持つグローバルサービス組織を組み合わせて、クライアントが持続可能性戦略を前進させながら、新しいレベルの経済的な成功の推進をサポートしています。

Veson IMOS Platform (VIP)

現在、Vesonのユーザーコミュニティは300社超の世界有数の船主、オペレーター、コモディティトレーダー、用船者などの18,000名超のプロフェッショナルから構成され、Vesonのデジタルプラットフォームを使用し、働き方や意思決定の方法を変革しています。

信頼できる唯一の情報源、唯一のツール

VIPは、航海の全てに関わる信頼できる唯一の情報源を提供することにより、海運ビジネスがより機敏に業務遂行し、各アクションの環境への影響を十分に理解した上で、より多くの情報に基づくタイムリーな意思決定を行えるようにします。

業界実績、未来志向

信頼性の高いビジネスロジックに基づいて構築され、クライアントの進化するニーズと目標を常に先取りをしているVIPは、クライアントの温室効果ガスの理解と排出量の削減を支援することに特に焦点を当てた包括的なデータソリューションや機能など、毎年何百もの新しい機能が追加されます。

業界の変革を推進するテクノロジーパートナーのネットワーク

海運における脱炭素化を推進するには、業界全体の連携と協力が必要となります。そのため、ZeroNorth社のように取り組みを共有する企業と協力をし、クライアントがより持続可能なビジネス推進できるようにシームレスなインテグレーションを提供しています。

海運業は環境への影響を減らすために取り組んでいるため、持続可能性戦略をサポート可能なプラットフォームとテクノロジーパートナーを選択することが重要です。実証済みのビジネスロジック、強力な統合、標準化されたデータを活用して、持続可能性の目標を達成する準備はできていますか？

デモをリクエストする →

VESON NAUTICAL

ボストン +1.617.723.2727
シンガポール +65.6225.4881
ロンドン +44.20.3397.0102
東京 +81(0)3. 4360. 8217
ヒューストン +1.617.723.2727

www.veson.com

Copyright © 2021 Veson Nautical. 不許複製・禁無断転載